(7) 島根県飯南町 ヒノキ (当年生苗・2年生苗)

①調査地の概要

島根県飯南町(ヒノキ)の調査地の概要を以下に示す。

表 4-50 調査地の概要(島根県飯南町ヒノキ)

		☆ 〒 ○ ○ 調査地の機会(高板水鉱円割 こ)()						
調	査 地	島根県飯南町						
国	有 林 名	程原 230 と						
樹	種	ヒノキ コンテナ苗 150cc						
		当年生苗 2年生苗						
	苗木生産者	I氏(島根県ヒノキ: 45~47ページ)						
造	面積	0.15ha(当年生苗・2年生苗・裸苗が交互に植栽されている)						
林	植栽年月日	平成 30 (2018) 年 11 月						
情	植栽本数	100本						
報	獣害対策	有(柵の設置)						
羊区	施業履歴	伐 採:平成30(2018)年5月						
		地拵え:平成30(2018)年11月全刈筋置						
	標 高	611m						
	斜面方位	W270°						
	最大傾斜角	37°						
調査地情報	2 4	 : スギ植栽プロット : 土壌調査ポイント 調査プロット (ヒノキ区) (ヒノキ区) (ロノキ区) (ロノナント) <						

平成30(2018)年11月に、スギとヒノキの当年生コンテナ苗、2年生コンテナ苗及び裸苗が植栽された。スギとヒノキは隣接して植栽されており、スギは斜面の下方に、ヒノキは斜面の上方に植栽されている。また、スギ、ヒノキとも当年生苗、2年生苗及び裸苗は交互に植栽されており、立地環境に差が生じないように配慮されている。なお、獣害対策として柵が設置されている。



調査地の状況(平成30(2018)年12月) 調査地の状況(令和3(2021)年10月月) 図 4-38 調査地の状況(島根県飯南町ヒノキ)

【調査プロットの設置状況】

調査プロット内における当年生苗と2年生苗の調査本数を表4-51に示す。本調査地では当年生苗と2年生苗及び裸苗が交互に植栽されており、当年生苗と2年生苗がそれぞれ100本入るように調査プロットが設置されている。

表 4-51 当年生苗と2年生苗の調査本数 (島根県飯南町ヒノキ)

設置日	平成 30 年 12 月 7 日				
苗種	当年生苗	2年生苗			
調査本数	100 本	100本			



ヒノキ区(平成 30 (2018) 年 12 月) ヒノキ区(令和元 (2019) 年 11 月)







ヒノキ区(令和2(2020)年6月) ヒノキ区(令和2(2020)年10月)



ヒノキ区(令和3(2021)年6月)



ヒノキ区(令和3(2021)年10月) 写真 4-53 調査プロット(ヒノキ区)の状況

【調査時期】

本調査地における夏期及び秋冬期の調査日、また下刈りの実施時期を表4-52に示す。

表 4-52 調査の実施時期及び下刈りの実施時期(島根県飯南町ヒノキ)

	夏期調査	秋冬期調査	下刈り実施時期
平成 30(2018)年度		12月7日	
令和元(2019)年度	7月2日	11月19日	7月
令和 2 (2020)年度	6月30日	10月14日	7月
令和 3 (2021)年度	6月24~25日	10月19日	7月

【土壌調査結果(平成 30 (2018) 年度調査)】

平成 30 (2018) 年度に実施した土壌調査の結果を以下に示す。本調査地はスギ区とヒノキ区が隣接して設置されているが、それぞれで1箇所ずつ土壌調査を実施した。





地表面の状態

土壌断面

写真 4-54 土壌調査の状況 (島根県飯南町ヒノキ)

表 4-53 土壌断面調査結果(島根県飯南町ヒノキ)

	層厚	土色		土壌構造	土性	石礫率	堅密度		備考		
	旧 字	色相	明度	彩度	土色名	上极惧距	工江	(%)	指圧	硬度計	1用行
A0層	2~0cm										地拵え後かつ急斜面につき、
70/8	2 -00111										AOが少ない
A層	0∼24.5cm	YR7.5	3	/	4	粒状 ~ 団粒状	埴質土壌	5	堅	12.6	
A2層	15cm	YR7.5	4	/	3	粒状	埴質土壌	10	堅	14	
B層	24.5~cm	YR7.5	5	/	6	粒状	埴土	20	堅	13.8	

※中山式土壌硬度計

②植栽木の生育状況

【植栽木の活着率について】

当年生苗と2年生苗の活着率(植栽から約1か月後の時点における生存率)を図4-39に示す。

活着率は当年生苗、2年生苗ともに100%となり、全ての植栽木が活着していた。

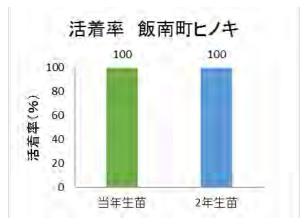


図 4-39 当年生苗と2年生苗の活着率(島根県飯南町ヒノキ)

【植栽木の生存率と生育状態について】

平成30 (2018) 年度から令和3 (2021) 年度における、当年生苗と2年生苗の生存率の推移を図4-40に、生育状態を図4-41に示す。

令和3 (2021) 年秋の時点における生存率は当年生区で100%、2年生苗区で97%となり、どちらも枯死はほとんど見られなかった。

生育状態については、主幹の曲がりや梢端の折損などの生育不良が見られる植栽木が当年生苗区、2年生苗区ともに見られるものの、令和3 (2021)年秋の時点でどちらも約8割が健全木だった。



図 4-40 当年生苗と2年生苗の生存率の推移(島根県飯南町ヒノキ)

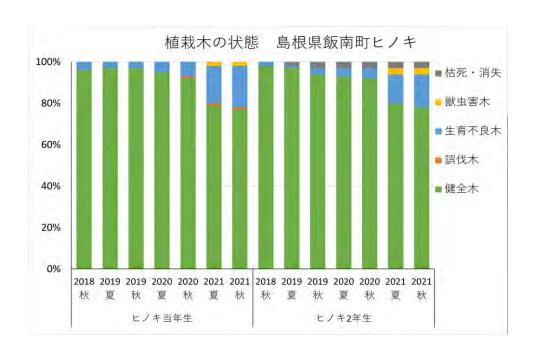


図 4-41 当年生苗と2年生苗の生育状態(島根県飯南町ヒノキ)



写真 4-55 梢端の枯損(令和3(2021)年10月)

【雑草木との競争関係】

令和3 (2021) 年の夏期調査における、植生調査の結果を表4-54に示す。なお、本調査地はスギ区とヒノキ区が隣接しており、植生に違いが見られなかったため、スギ区とヒノキ区の中間地点で植生調査を実施した。そのため、スギ区と同じ調査結果である。

本調査地ではアカメガシワ、ヤブムラサキ等の落葉広葉樹が多く見られるほか、ハンショウヅルやヤマフジ等のつる植物も見られる。

次に、令和元(2019)年から令和3(2021)年の夏期調査における、当年生苗及び2年生苗と雑草木との競合状態を図4-42に示す。令和3(2021)年夏の時点で、当年生苗区と2年生苗区で競合関係にほとんど差はなく、どちらもC1+C2が9割を超えており、ほとんどの植栽木が雑草木との競争から抜け出していることが分かる。

表 4-54 植生調査の結果(島根県飯南町ヒノキ)

調査区全体の被度: 95% 調査区の植生タイプ:落葉広葉樹類(ツル植物多い)

区分	区分 被度 (%)		被度(%)	その他の出現種		
低木層 (高さ100cm以上)		・アカメガシワ ・ヤマグワ ・ヤブムラサキ	ァマグワ 5-10%		・タラノキ・ヤマザクラ ・ヒヨドリバナ・クマイチゴ ・ムラサキシキブ・ウワミズザクラ	
草本層 (高さ100cm未満)	70%	・ヤブムラサキ ・アカメガシワ ・ササsp ・ワラビ	15% 10% 10% 10%		・クマイチゴ・ムラサキシキブ ・ヌルデ・タラノキ・ヤマグワ・クサギ ・ヒヨドリバナ・オカトラノオ ・ヤマハギ・サルトリイバラ・クロモジ ・ススキ・ハンショウヅル・ヤマフジ	

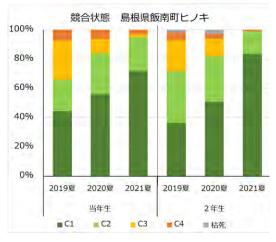


図 4-42 雑草木との競合状態 (島根県飯南町ヒノキ)



写真 4-56 植生の状況 (令和3(2021)年6月) (島根県飯南町ヒノキ)

【植栽木(健全木)の成長状況】

平成30 (2018) 年度から令和3 (2021) 年度における、当年生苗と2年生苗の成長状況を表4-55、図4-43に示す。

植栽直後の平成 30 (2018) 年秋の時点での平均樹高は当年生苗で 31.7cm、2年生苗で 50.3cm であり、2年生苗の方が大きく両者の樹高差は約19cm だった。令和3 (2021) 年 秋の時点での平均樹高は、当年生苗で160.6cm、2年生苗で168.9cm であり、樹高差は10cm 以下となっていた。当年生苗と2年生苗の平均樹高の差は縮まっており、当年生苗の樹高成長は2年生苗よりもわずかに良好だったと言える。

Z · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							
		2018 年秋冬	2019 年秋冬	2020 年秋冬	2021 年秋冬		
平均樹高	当年生苗	$31.7 \pm 4.6 \text{ cm}$	$67.0 \pm 10.9 \text{ cm}$	$117.8 \pm 20.3 \text{ cm}$	$160.6 \pm 28.1 \text{ cm}$		
(cm)	2年生苗	$50.3 \pm 6.5 \text{ cm}$	$73.8 \pm 10.3 \text{ cm}$	$122.1 \pm 22.6 \text{ cm}$	$168.9 \pm 30.5 \text{ cm}$		
平均地際径	当年生苗	$3.3 \pm 0.4 \text{ mm}$	$10.4 \pm 1.8 \; \text{mm}$	$19.7 \pm 3.5 \; \mathrm{mm}$	$36.0 \pm 7.4 \text{ mm}$		
(mm)	2年生苗	$5.0 \pm 0.8 \; \text{mm}$	$12.4 \pm 2.1 \text{ mm}$	$22.3 \pm 4.3 \; \mathrm{mm}$	$40.6 \pm 8.5 \text{ mm}$		
平均形状比	当年生苗	98.6 ± 15.2	65.3 ± 10.7	60.6 ± 10.0	45.6 ± 8.4		
	2年生苗	102.9 ± 16.1	60.8 ± 9.8	55.7 ± 9.2	42.4 ± 7.3		

表 4-55 当年生苗と2年生苗の成長状況(島根県飯南町ヒノキ)



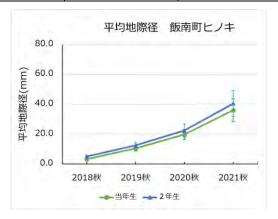




図 4-43 当年生苗と2年生苗の成長状況(島根県飯南町ヒノキ)



当年生苗(平成 30 (2018) 年 12 月)



2年生苗(平成30(2018)年12月)



当年生苗(令和元(2019)年 11 月)



2年生苗(令和2(2020)年11月)



当年生苗(令和2(2020)年10月)



2年生苗(令和2(2020)年10月)



当年生苗(令和3(2021)年6月)



2年生苗(令和3(2021)年6月)



当年生苗(令和3(2021)年10月) 2年生苗(令和3(2021)年10月) 写真 4-57 植栽木の状況(島根県飯南町ヒノキ)

